



機構長からの挨拶

総合情報戦略機構長 古屋 長一

総合情報戦略機構は組織、部署を単純化することで指揮命令系統の単純、迅速化を行い、情報インフラを統括的に維持管理する体制を強化するために、従来の総合情報処理センター、情報推進室及びIT推進本部が統合され、平成21年4月1日に発足しました。

総合情報戦略部(土屋部長)の下に情報支援室、情報戦略室、医療情報室が設置されています。本機構の目的は高度情報通信社会の進展に対応し、情報基盤システムを整備するとともに情報セキュリティを確保し、その円滑な管理・運用を図り、教育・研究・学術情報及

び事務処理等に資するほか、大学運営に係わる情報化を総合的に推進することを目的としております。

情報ネットワークは教育研究活動に不可欠なツールですので学生、教職員が快適に使用できる環境の構築に努めて参ります。皆様のご意見、要望をお知らせ頂き、協力して安全で快適な環境を維持する努力をいたします。皆様のご支援をお願いいたします。

機構の組織とその目的・業務について

情報支援室 辻 幹也

平成21年4月1日総合情報戦略機構が発足いたしました。本機構は、大学運営に係わる情報化を総合的に推進することを目的としておりますが、その運営組織である3室(情報支援室、情報戦略室、医療情報室)は以下の業務をつかさどっています。

・情報支援室

- (1)教育・研究及び事務処理等の支援に関すること。
- (2)情報システムの企画・立案、整備、管理及び運用に関すること。
- (3)業務支援システム(医療情報管理システムを除く)の企画・立案、整備、管理に関すること。
- (4)情報システムの構築に関し、他の部・課・室・センターの業務に属さない事項に関すること。
- (5)機構及び部の庶務及び連絡調整に関すること。

・情報戦略室

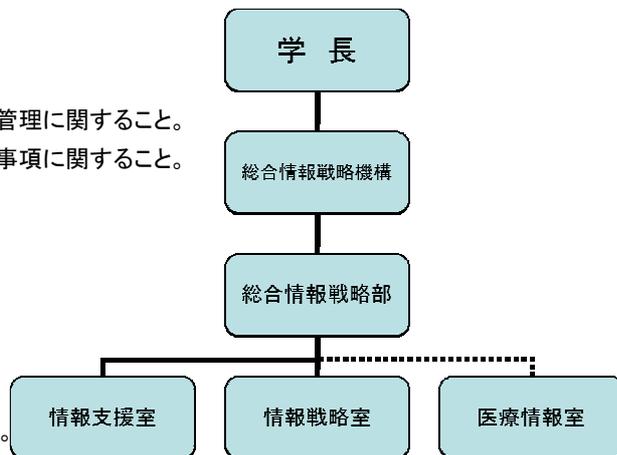
- (1)情報戦略の企画・立案及び実行に関すること。
- (2)情報セキュリティの確立及び遵守の促進に関すること。

・医療情報室

- (1)附属病院の情報管理に関すること。
- (2)病院情報管理システムの企画・立案、整備、管理及び運用に関すること。
- (3)附属病院の情報システムに関すること。

従前より、本機構の前身であるIT推進本部のもと総合情報処理センターと情報推進室では業務の相互連携を深め、情報基盤や教育研究システム及び業務システムなどの情報資産の有効管理・一元化を進めてまいりましたが、本機構はそれに加え、教務・図書館及び医学部附属病院の情報システムをも含めた真の全学(包括)的な組織となりました。

本機構はまだ発足したばかりですが、上記の目的を遂行するため機構長以下構成員一丸となって情報基盤の円滑な管理・運営は言うに及ばず、皆様に様々な企画やサービスを提供して行きたいと考えておりますので、あたたかいご支援と協力をお願いいたします。



情報システムの運営と基本方針

情報戦略室 浅川 辰仁

昨今の情報通信技術の発達が目覚しく、数年前にはとても高価だった機器が比較的安価に購入できるようになりました。学内では何処にいてもネットワークを利用出来る環境が整い、業務を遂行していく上で必須のライフラインとして、重要な役割を担っています。

一方で、情報漏洩やコンピュータ犯罪など大きなリスクも付きまっています。新卒のウィルスやスパイウェアなどもその一つで、これらは日々進化しておりその都度セキュリティ対策に追われています。いわゆる「イタチごっこ」です。こういったリスクに対抗するためには、管理者側だけでなく、利用者一人ひとりの安全対策に対する意識の向上とスキルアップが必要になります。

日々進化している高度情報通信ネットワーク社会に対応して行くためには、莫大なコストと専門的技術者の育成、利用者側の情報通信に対する知識の向上が不可欠です。総合情報戦略機構では、利用者向けの研修会を開催するなど利用者の皆様のスキルアップに努めると同時に、何時でも何処でも安定した利用環境が得られるよう日々努力して行きます。

最後に、現在学内で展開している各種の情報システムは、高度な専門的知識を有した教員が中心となり開発・運営してきました。改めてこれらに携わった方々の多大なご尽力に感謝するとともにご支援をよろしくお願い致します。

平成19年2月に導入された両キャンパスの情報システムは、2年半経過し安定運用の時期に入っています。しかし一部のシステムでは、多少の不具合が発生し、利用者の皆様にご不便をおかけする結果になっています。

そこで、今年度は、利用者へのサービス品質の向上を最優先に、併せてセキュリティ対策にも力を注いだ事業計画を実施していきたくと考えています。

★サービス品質の向上

Mailシステムではスパム対策の強い要望をいただいております。早急に対策を講ずる予定です。専用のSpam対策製品の導入あるいは現Spamフィルタ製品の更新を行うよう検討を開始しました。

DNS(名前解決)アプライアンス製品を導入し、管理・運用のコスト軽減を図ります。サブネット単位での管理から一括集中での管理が可能となります。

★セキュリティ対策

不正通信の監視、ネットワーク障害の早期発見ができ、安定したネットワークを提供できるよう侵入検知システム及びネットワーク監視装置の導入を行います。

★業務支援システム

業務支援システム関係では、教務システムサーバ更新、財務会計システムサーバ更新、図書館情報システムの更新が今年度行われます。

★新サービス

燃料電池ナノ材料研究センター棟の建設が6月末に完了し、ネットワーク環境の設備を実施しました。

また、学生、教職員を対象とした「セキュリティ講習会」を予定しています。

リニューアルしたホームページについて

当機構では、機構が提供しているサービスや、機構が管理している施設等について、ホームページ(*1)で情報提供しています。

学外のPCからe-learningのコンテンツを利用したり、教職員用の掲示板を見るために必要な「VPN接続」の仕方などはお問い合わせの多いところですが、そのやり方なども詳しく掲載されています。

なお、従来紙ベースで受け付けていたいろいろな申請(Officeの申し込みや、情報処理教室の予約など、教職員対象の申請)につき

ましては、そのほとんどがe-Office Navi (*2)の「申請・調査」等のメニューから行っていただくようになりましたので、そちらの方をご利用ください。

*1 <http://sojo.yamanashi.ac.jp/>

*2 <http://www.yamanashi.ac.jp/inside/index.html>

TOPICS

P2Pによる著作権付き動画や音楽の不正取得について

P2Pとは、ピアツーピア(Peer to Peer)の略語でネットワーク上で端末間を相互に直接接続し、データを送受信することをいいます。P2Pのシステムには、様々な種類があります。例えば特定の利用者間をつないで1対1での音声通話やメッセージの送受信を行なうインスタントメッセージ、不特定多数の利用者を匿名でつないでお互いにファイルを交換し合うファイル交換ソフトなどです。

P2Pソフト自体は違法なものではありません。しかしながらP2Pソフトを利用して交換するファイルが音楽・映像・ソフトウェア等の著作物であり、それらを無断で交換するという違法行為が問題となっています。また、ファイル交換ソフトもインターネット上に多種多様なダウンロードや操作ができるようになっていきます。そのため利用者は罪の意識を感じることなく使い続けてしまいます。このような方法で

入手した著作物は個人で利用するものであっても、法律に違反する行為になります。

さらに、交換したファイルには、利用することでウィルスに感染してしまうものもあります。これらウィルスの大半は感染したPC上のデータをインターネット上に勝手にアップロードしてしまうものです。昨今ニュースにも取り上げられているようにPC上の個人情報などが漏えいしてしまうといった事件も起きています。

これらを踏まえて山梨大学では著作物交換用途でのファイル交換ソフトの利用を禁止しています。利用した場合は処分の対象となりますので十分に注意してください。

機構からのお知らせ

【8月の予定】 情報処理教室および24時間オープン端末室の休止について

夏季休業期間中は、情報メディア館 第2 実習室で行われている、延長サービスを休止します。

また、省エネルギー対策の一環として、J321 教室、A1-21 教室の利用を休止します。

夏季休業期間:8月7日(金)～9月24日(木)

夏季一斉休業:8月13日(木)～17日(月)まで、情報処理教室および24時間オープン端末室を休止します。

【9月の予定】 甲府キャンパスの計画停電にともない、キャンパスネットワークが一部停止します。詳細は、後日お知らせいたします。

編集後記

本機構が発足して早4ヶ月経過しました。組織の刷新にあわせ、YINS-NEWSを改め「総合情報戦略機構News」を発行するに至りました。この「総合情報戦略機構News」は、年4回発行し読者の皆様にカレント情報を提供していく予定です。

山梨大学総合情報戦略機構News 創刊号 2009年7月22日発行

編集: 機構News編集委員会

発行: 山梨大学総合情報戦略機構 〒400-8511 山梨県甲府市武田4-3-11 TEL:055-220-8085